

プログラムデザインコース

■ 「**蕪栗沼・周辺水田における湿地を活用した環境教育**」 ～渡り鳥と人が共生できる地域づくり～

日 時：2025年12月9日（火）11：00～17：00

会 場：蕪栗沼・周辺水田ほか（宮城県大崎市）

定 員：20名

講 師：呉地 正行氏（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ理事長・NPO法人日本ラムサールネットワーク日本理事）

戸島 潤氏（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ副理事）

高橋 のぞみ氏（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ）

建元 喜寿氏（筑波大学付属坂戸高等学校 主幹教諭）

集 合 時 間：11：00（受付 10：30～11：00）

集 合 場 所：加護坊四季彩館 正面入り口〔宮城県大崎市田尻大沢字加護坊山178番地1〕

ア ク セ ス：①無料送迎バス（古川駅）（※所要時間約30分）

朝：JR古川駅10:10出発予定

夕：現地 17:15出発予定

②マイカー利用（無料駐車場あり）

スマートムーブを推奨しています。できるだけ①を御利用ください。

マイカー利用を希望の方は事前に事務局にお知らせください。

プログラム（予定）

	受付（10:30～10:50）
11:00	開講、主催者挨拶、講師紹介等
11:05	お互いを知る時間（自己紹介等）（15分）
11:20	レクチャー①渡り鳥に選ばれる環境づくり～蕪栗沼・周辺水田～呉地氏（40分）
12:00	昼食（※）
	移動（徒歩5分）
13:00	体験活動①加護坊山山頂から自然観察 戸島氏・高橋氏（30分）
	移動（徒歩5分）
13:30	レクチャー②活動紹介と環境教育の現状について 戸島氏・高橋氏（40分）
14:10	レクチャー③学校とつながるためのワンポイントアドバイス 建元氏（30分）
14:40	グループワーク（気付き・学びの共有）（50分）
15:30	蕪栗沼へ移動（バス20分）
15:50	体験活動② 蕪栗沼にてマガンのねぐら入り観察 日の入り16:16
17:00	閉講（17:15 バス乗車）

※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。

※ 昼食は加護坊四季彩館内の食堂をご利用ください。

※ 「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」の講師は建元喜寿氏です。

※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

プログラムデザインコース

■ 事業者情報等（団体や活動の概要など）

○NPO法人 蕎粟ぬまっこくらぶ

1996年に「蕎粟沼探検隊の集い」として活動を開始し、蕎粟沼遊水地が完成した2000年にNPO法人化されました。蕎粟沼の環境を未来へ伝えることを目的とし、蕎粟沼の環境保全や渡り鳥の保護、環境教育等に取り組んでいます。

具体的には、動植物モニタリング調査など環境調査を行い、遊水地の管理に必要な動植物の配慮のための情報を提供するほか、周辺堤防の除草や清掃、水田跡地である白鳥地区の湿地復元、ヨシ刈りによる陸地化防止などの事業を委託事業や自主事業として行っています。

環境教育活動では、蕎粟沼の渡り鳥や野生生物などの貴重な自然環境、遊水地と治水の重要性、農業と渡り鳥の共生などについて学んでもらうために、環境教育プログラムを実施しています。また、図鑑シートやポスターなどの教材の作成を行っています。



○ラムサール条約登録湿地「蕎粟沼・周辺水田」

2005年11月、第9回ラムサール条約締約国会議において、蕎粟沼・周辺水田（423ha）が登録地となりました。

宮城県大崎市・栗原市・登米市に所在し、宮城県北部を流れる北上川の支流、小山田川の流域にある遊水地機能をもった堰止め湖の蕎粟沼と、沼と密接な関係にある周辺の水田地帯がひとまとまりの湿地生態系として登録されています。

マガノ、オオヒシクイ、オオハクチョウ及びカモ類の越冬地として全国でも最大級の規模を持ちます。

湿地と生物多様性の保全のため、環境保全NPO、農業団体、国や自治体といった行政機関などが連携し、様々な保全・管理の取組やワיזズユース（賢明な利用）が進められています。

